

“奈緒ちゃんシリーズ”最新作

やさしくなみに

～奈緒ちゃんと家族の35年～

そばにいるときも、いないときも、
家族の物語はつづいています。

豊見城にて
上映決定!

裏面をご覧ください

障がいのある奈緒ちゃんと家族の日々。カメラは35年間回りつづけた。

受付

30.2.09

沖縄県社会福祉士会

〈ヒューマンドキュメンタリー映画〉伊勢真一 監督作品

2017年／カラー／1時間50分／製作:いせフィルム <http://www.isefilm.com>

奈緒ちゃんに逢いに来ませんか?



ケンカしちゃういけないよ。
やさしくなあに…

やさしくなあに

～奈緒ちゃんと家族の35年～



『やさしくなあに』は、
家族の映画です。

演出：伊勢 真一

「この子は長く生きられない…」医者にそう言われた、と姉が長女・奈緒ちゃんのことを私に話してくれたのは、奈緒ちゃんが2才か3才の頃だったか…。てんかんと知的な障がいを合わせもっていたのです。無力だった私は何もしようとしてあげられませんでした。

自分に出来ることは映画を創ることだ。家族のアルバムのような記録を撮って、お母さんとお父さんと弟の記一と、奈緒ちゃん、一家四人にだけ観てもらおう、そんなショートフィルムを創ってみようと思立ったのは、奈緒ちゃんが小学校に上がって間もなくのこと。8才の正月にカメラは回り始めました。

撮るべきものは“元気な奈緒ちゃん”。奈緒ちゃんがそこに居て、笑っているだけでいい。生きていてだけでいい…。ただただ奈緒ちゃんを撮

るという素朴な記録、テーマなんか知ったことが。奈緒ちゃんに逢いに、スタッフと通い続けました。

奈緒ちゃんが生まれ、奈緒ちゃんが育んだ、「しあわせ」。気がついたら12年の歳月が流れ、完成した映画『奈緒ちゃん』は、思ってもいないような評価を受け、全国各地で自主上映の輪が広がって行ったのです。

しかし、“元気な奈緒ちゃんを撮る”という課題は、まだ終わりませんでした。何故なら、奈緒ちゃんはどんどん元気になり、奈緒ちゃんを育てながらお母さんもまた、元気になっていったからです。お母さんは、障がいのある子どもをもつ仲間たちのリーダーとして、「びぐれっと」と呼ばれる地域作業所を立ち上げ、地域の中で、奈緒ちゃんたちを育てる活動に取り組みます。

そして奈緒ちゃんは、やがて「びぐれっと」が作ったグループホームで暮らし始め自立します。私はその過程を映画『奈緒ちゃん』の続編として『びぐれっと』『ありがとう』という二本

のドキュメンタリー映画にまとめました。それでも撮影を止めませんでした。“元気な奈緒ちゃんを撮る”という約束を果たすために。

そして気がついて、撮影を始めてから35年の歳月が積み重ねられていたのです。

「奈緒ちゃんが生まれたから、生きたから、
たくさんいのちが生きた。」

『やさしくなあに』は、家族の映画です。

障がいをもちながらも元気に生きる奈緒ちゃんを撮りつづけて35年、そこに写っていたのは“家族”でした。ひたむきに生きる奈緒ちゃん一家の暮らしの日々…。映画を観た人はきっと、自分自身の家族との日々を思い返すでしょう。

主役は姪っ子の奈緒ちゃんとその家族。テーマ曲「Home, Sweet Home」を歌うのは姉、西村信子、チラシの絵は亡き母、木島浜子、亡き父、伊勢長之助(記録映画編集者)と関わりがあるスタッフもいます。題字は伊勢真一…。

この映画は、私にとっても家族の映画です。

出演——西村 奈緒 西村 記一 西村 信子
西村 大兼 内田 三郎 ブーちゃん
「びぐれっと」のみんな
撮影——石倉 隆二 瀬川 順一 宮田 八郎
世良 隆浩 田辺 司 伊勢 朋矢
照明——箕輪 栄一 工藤 和雄
音響構成——米山 靖
録音——渡辺 文彦 永峯 康弘 井上 久美子
編集——尾尻 弘一
テーマ曲——「Home, Sweet Home」
演奏・歌——西村 信子
宣伝デザイン——森岡 寛貴 遠藤 郁美
上映デスク——増馬 則子 鷲見 真弓
相原 余至子 東 志津

制作協力——奈緒ちゃん一家 社会福祉法人「びぐれっと」
グループホーム「みなみ風」
ヒポコミュニケーションズ 一隅社
クロスフィット ハチプロダクション
ジオンググラフィック
野口 香織 横内 丙午 岩永 正敏 守内 尚子
前田 祥丈 高内 優 大場 健二 篠塚 昌述
助川 満 飯田 光代 藤崎 和喜
上映協力——MOCプロジェクト
特別協力——伊勢 長之助 木島 浜子
瀬川 浩 柳田 義和 瀬川 龍
大槻 秀子 木村 勝英 熱海 鋼一
企画・製作——いせフィルム
演出——伊勢 真一

伊勢 真一 (いせしんいち)

ドキュメンタリー映像作家。1949年東京都生まれ。奈緒ちゃんの叔父にあたる。長編ドキュメンタリー映画のデビュー作は、8才の奈緒ちゃんとその家族に寄り添い12年間を記録した映画『奈緒ちゃん』(1995年)。この作品で、毎日映画コンクール記録映画賞グランプリ他多数を受賞。その後も長きにわたり撮影を続け「奈緒ちゃんシリーズ」として『びぐれっと』(2002年)、『ありがとう』(2006年)を製作。2017年の本作はシリーズ第4弾となる。他にもヒューマンドキュメンタリーの作品を多数製作。

お問合せ いせフィルム www.isefilm.com

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-7 青山Nブリックビル3階
TEL:03-3406-9455 FAX:03-3406-9460 E-mail:ise-film@rio.odn.ne.jp

家族を持つすべての方へご覧いただきたい映画です。どうぞお問い合わせの上お越しください。

上映日 2018年3月18日(日)

●13:00 開場 13:15-15:05 (1回目)
●15:15 開場 15:30-17:20 (2回目)

料金

一般……………1,000円(前売/当日共)
当事者・学生……………500円(前売/当日共)

お問合せ
と
事前予約

090-1949-9803 (宮里)
090-1818-8129 (小林)
090-7479-7709 (仲本)
arumunjyukui@icloud.com (有谷)

会場

豊見城市中央公民館 中ホール
豊見城市字平良467-1 (098)850-3280
(豊見城インター出ですぐ)

【チケット取扱所】*お取り扱いいただける方を募集しております(facebookイベントページにてご紹介)
てんぷす那覇 / 沖縄市市民劇場あしびなー / ゆい・ハート / 畑の学校 / 野草スムージー天美 / 糸満長谷寺

【主催】「やさしくなあに」豊見城上映実行委員会 / ゆい・ハート家族会 【協賛】沖縄自主上映会促進ネットワーク
【協力】沖縄県精神保健福祉会連合会 / ゆい・ハート福祉会 / 長谷寺 / 畑の学校 / 野草スムージー天美 / あるむんじゅくい